

2019年3月27日

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)
アフリカ・フードバリューチェーン (FVC) 分科会
(グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会アフリカ部会)

<第1回分科会のご案内>

1. 分科会設置の背景・目的

この度、JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) の活動の一環として、アフリカ地域の課題を議論する分科会“アフリカ・フードバリューチェーン”を立ち上げることになりました。

アフリカの農業セクターは、農産物の流通、加工、販売等、その関連産業も含め、地域や国の経済を支える主要産業です。産業別での従事者が最も多く、特に農村部ではそれが顕著となります。

2014年に策定された「グローバル・フードバリューチェーン戦略」においては、アフリカ地域を、多くの人口を抱え将来的に有望な食市場ととらえ、高付加価値フードバリューチェーンの構築を進め、地域の持続的成長と農村の所得向上を実現するとされています。農業生産性の向上とともにフードバリューチェーンの構築、強化を通じて、農業分野の収益性向上を図ることは、アフリカにおける産業多角化と経済成長の加速に大きな効果を及ぼすと考えられています。加えて、このフードバリューチェーン構築に、人々の栄養改善の観点を含めることにより、アフリカにおける食料安全保障と栄養改善に貢献することが期待されています。

中でも、現在、日本が取り組むアフリカ開発会議 (TICAD) プロセスにおいては、我が国のアフリカ各国に対する農業分野の取り組みの一環でフードバリューチェーン構築を民間企業と官機関が連携して推進することが不可欠と考えており、民だけで開発、官だけで開発という発想ではなく、それぞれの強みを生かしアフリカの農業の収益性・生産性向上を図る取り組みが重要と認識しております。

今般、JICA ではアフリカへの進出に関する本邦民間企業の関心や動向を把握したうえで、サブサハラアフリカにおける食料安全保障・栄養改善のためのフードバリューチェーン開発に関する調査を実施します。

調査では、主に食料安全保障の観点、または栄養改善の観点からのフードバリューチェーン構築をとらえ、サブサハラアフリカにおけるポテンシャル地域の情報収集を行うとともに、開発におけるボトルネックを明らかにし、本邦民間企業との連携可能性も視野に入れた今後のサブサハラアフリカにおける食料安全保障及び栄養改善のためのフードバリューチェーン開発支援事業の具体的な方向性や留意点について取りまとめる予定です。

第1回分科会では、上記調査に関して、アフリカ地域への事業展開を目指す食・農分野の業界団体・民間企業、大学・研究機関、農林水産省及びJICA等との意見・情報交換を行います。2019年度後半には、対象国・分野を絞った調査（ビジネスモデル組成）や現地セミナーを実施する予定です。

なお、本分科会は農林水産省が実施している、グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会のアフリカ部会との共同開催とします。

2. 第1回分科会プログラム

- (1) 日 時：2019年4月25日（木）12：00～13：30（受付11：40～）
- (2) 会 場：JICA 研究所 セミナールーム600
- (3) 内容：
 - 出席者自己紹介（5分）
 - 本分科会の趣旨説明・2019年度分科会活動計画案（5分）
 - JICA「サブサハラアフリカにおける食料安全保障・栄養改善のフードバリューチェーン開発に関する情報収集・確認調査」の概要説明（15分）
 - 質疑応答・意見交換（35分）
- (4) 本件照会先：JICA 農村開発部第5チーム 畔上智洋
(Azegami.Tomohiro@jica.go.jp、Tel:03-5226-8414)

以 上